

# レーザーによる 「尿路結石」の治療を始めました

泌尿器外科 山下医師外来

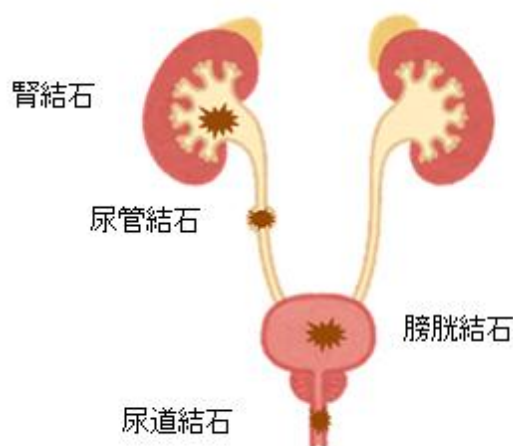
火曜・木曜：午前

金曜 1. 3. 5 週目：午後

## 「尿路結石」

人は体に出来た老廃物を尿として尿管、膀胱を介して体の外に出しています。

「尿路結石」は、この尿の排泄される経路に出来た結石のことをいいます。結石の出来た部位により、腎臓結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石などと名前がつけられています。



近年、「尿路結石」の患者さんは、その数が増えています。食生活の欧米化の影響も考えられ、生活習慣病：メタボリックシンドロームの一つと考えられています。

再発される患者さんが多く、5年間のうちに30～40%の方が再発されていると報告されています。

## 「尿路結石」の症状

腎臓結石では血尿が生じますが、無症状の方もいます。

「尿路結石」が尿管まで下降し尿管に嵌頓すると、腎疝痛と呼ばれる突然の側腹部痛、背部痛、下腹部の激痛、嘔吐が出現します。自覚症状の乏しい方であっても、腎機能低下、発熱を伴う尿路感染症などを発症します。



## 「尿路結石」の保存的治療法

小さい「尿路結石」では、薬物療法による自然排石が期待できます。ですが、5 mm以上の大きさでは、半数で自然排石が起こらず、外科的治療を必要としたという報告があります。

尿路結石によって腎機能低下や腎盂腎炎を併発したときには、緊急処置を必要とすることがあります。

## 「尿路結石」の外科的治療法

「尿路結石」の外科的治療方には体外衝撃波腎尿管結石碎石術（ESWL）と経尿道的尿管結石碎石術（TUL）とがあります。

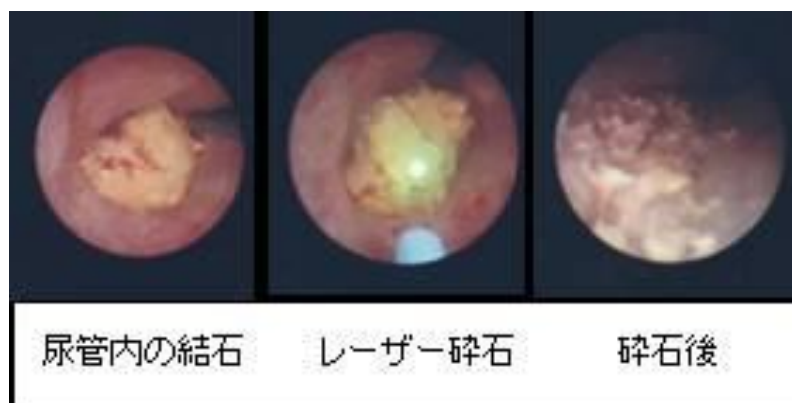
東京曳舟病院泌尿器外科では、今年度レーザーによる経尿道的尿管結石碎石術（TUL）を開始しました。

このレーザーによる「尿路結石治療」は麻酔をした後、尿道から尿管鏡という細い内視鏡を挿入し、結石をレーザーを使って碎石し、バスケット鉗子で取り出します。

体の表面から衝撃波を当てて碎石し、自然排石を待つ体外衝撃波腎尿管結石碎石術（ESWL）は、確かに侵襲は少ないのですが、排石までに時間がかかってしまいます。

一方、経尿道的尿管結石碎石術（TUL）は内視鏡で確認しながら碎石することができ、「尿路結石」を確実に体外に除去することが出来ます。

近年、この経尿道的尿管結石碎石術（TUL）は、急速に普及してきております。



当院では、レーザーは、Lumenis Puls30H (Lumenis 社) を使用しており、尿管鏡は、boston scientific 製を使用しております。

治療に際しては、4~5 日間の入院が必要です。



受診のご相談は外来案内までお越しく下さい

東京曳舟病院 03-5655-1120